

シルバーだより

新ひだか



2011
秋号
(No.56)



互助会旅行

事故撲滅全国統一スローガン
「安全は 一声かける ゆとりから」



(社) 新ひだか町シルバー人材センター(広報部)

〒056-0005 新ひだか町静内こうせい町2丁目2番15号

Tel(0146) 43-2800 Fax(0146) 43-3688

E-mail:Shinhidaka-sc@chime.ocn.ne.jp

第3回 理事会から

第3回理事会が10月7日(金)午後2時から開催され、報告事項4点、議案事項2点、その他として6点について熱心に話し合われました。

その中から、(1)新任理事長研修会について、(2)就業開拓(発注者訪問)、(3)避難者を囲んでの新そば試食会、の3点についてその概略を報告致します。

(1) 新任理事長研修会参加報告

8月末に東京で2日間の日程で研修会があり、参加した大澤理事長から理事会でその概要が報告されました。

①参加者 39都道府県より109名が参加

②主たる協議内容

- ① シルバー人材センター事業の現状と平成23年度事業方針
- ② シルバー人材センター事業の課題と展望
- ③ シルバー人材センター事業の適正な運営の徹底について
- ④ 企画提案方式による事業と安全就業について
- ⑤ 分科会発表(臨時職員(会員)適正就業について等)

理事長によると講義が4回程あったということですが、その内容が充実したものであり、とても参考になったということでした。

(2) 就業開拓(発注者訪問)

シルバー人材センターと発注者との相互理解と信頼を深め、更に良好な関係を構築し、今後も引き続き仕事の発注が継続され、事業実績の向上に少しでも結びつけばとの願いから、理事長と副理事長による発注者への訪問を実施しました。

1. 訪問実施日 平成23年9月5日(月) 午前10時から12時
2. 訪問者 大澤理事長 高瀬副理事長 小関業務係
3. 訪問時に渡すもの シルバー人材センターパンフレット、タオル
4. 訪問先 1回目の試みなので就業内容が片寄らないように次の方々の自宅又は事業所を訪問。

①草取り ②剪定 ③草刈り ④清掃 ⑤ごみ処理
(8月下旬から9月上旬頃に発注のあった自宅又は事業所)

5. 訪問結果

- ① 突然の訪問となったがどこでも快く対応してくれた。
- ② 理事長のソフトな訪問態度と獣医時代の人間的なつながり。
- ③ 就業の様子、仕事ぶりについてはどこの訪問先でも◎の評価。
- ④ 就業時間が長かった割には、作業内容に少し不満との感想。
- ⑤ 全体的に会員の就業態度は、真面目で一生懸命であるとの感想。
- ⑥ 雑談を交え和やかな雰囲気の中で訪問することが出来た。
- ⑦ 理事長、副理事長の訪問を今後も継続していくことは必要。

(3) 福島から避難されている家族を囲んでの新そば試食会



もりそば、温かいえび天そば等に満足していたようです。

酒井町長も駆けつけてくれましたが公務の関係で避難者の来られる前に退席しましたが、えび天そばを味わっていただきました。

翌日の道新朝刊にこの時の様子が写真入りで報道されました。

当センターでは、去る10月2日(日)に東日本大震災により新ひだか町に避難されている方々を元気づけようと「新そば試食会」を計画、実施致しました。

当日は、一家族だけでしたが四人の方々が参加してくれました。初めに大澤理事長とそば同好会千葉会長の挨拶があり、そば同好会の方々が早朝より心を込めて打ったそばを味わいました。



輝け! カラオケ夢舞台 (カラオケサークル交流唄まつり)

9月4日に町公民館で毎年行われている「輝け!カラオケ夢舞台」が開催され、第2ステージ「団体の部」に当シルバー人材センターから千葉一夫さんが「古城」、田中正俊さんが「男のグラス」を唄い会場から大きな拍手と声援が送られていました。シルバー人材センターのPRにもなりました。



千葉一夫さんと田中正俊さんの熱唱



ストレッチ同好会

公益社団法人移行に向けて

平成20年12月1日に

全ての社団法人は、平成25年11月末までに「公益社団法人」か「一般社団法人」のどちらかへ移行する。
(どちらへも移行申請しなければ、解散とみなされ、事業の継続は出来なくなります。)

という新しい公益法人改革関連三法が施行されました。

これを受けて、新ひだか町シルバー人材センターでは、これまで道シルバー人材センター連合会等と連絡を取り合い理事会を中心に検討してまいりました。

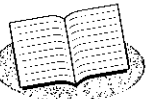
① 税法上の優遇処置がある。

② 公益性の高い団体という社会的信用を得ることができる。

という、2点の理由から「公益社団法人」への認定申請を進めることを今年3月の総会に報告し承認されました。その後、5月の総会では「定款」の変更を提案可決し、着々と移行への準備を進めているところですが、去る9月26日に道総務部行政改革局へ認定申請関係書類を発送しており、現在道の担当部局で申請書の確認作業を行っている段階です。

順調に認定作業がすすめば、行政庁より認定書が交付され移行登記を行い、登記日から2ヶ月以内に総会を開き、移行確認と役員選出等を経て新年度の平成24年4月1日より公益法人としてスタートすることになる予定です。

事務局だより



23年度の会費を納入してください。

◇会員会費	1,800円
◇互助会費	600円
合計	2,400円



ボランティア活動(剪定作業)

【11月行事予定】

- 2日 剪定作業講習会
- 10～11日 道南ブロック理事長・事務局長
研修会 (苫小牧市)
- 11日 カラオケ同好会
- 14日 ストレッチ同好会
- 17日 道南ブロック職員研修会 (函館市)
理事長会議 (札幌市)
- 18日 配分金振込日
- 24日 安全パトロール
- 28日 ストレッチ同好会
- 30日 そば打ち同好会

《お願い》

今年度も草刈、草取、剪定作業等の忙しい時期が過ぎました。大きな事故もなく胸をなでおろしていますが、気になった点があります。

それは、一緒に就業したい人を指名したり、自分から他の会員に連絡をとりセンターに事後報告で済ませていることです。共働・共助がセンターの理念であり、会員に公平に就業を紹介するのが事務局の仕事ですので、ご協力をお願いします。

シルバー人材センター事業運営状況報告(9月末)

会員登録状況

性別	前月末会員数	当月入会者数	当月退会者数	当月末会員数
男	133	0	1	132
女	80	0	0	80
計	213	0	1	212

公共・民間別事業実績

職群	項目	受注件数 (件)	就業延べ人員 (人)	契約金額(円)			
				会員の報酬	材料費等	事務費	計
公共事業	当月	11	219	613,705	67,270	236,828	917,803
	累計	55	1,373	4,000,280	3,333,420	692,012	5,025,712
民間事業	当月	43	1,335	5,233,214	226,075	563,255	6,022,544
	累計	286	8,176	31,980,460	1,242,320	3,310,604	36,533,384
一般家庭	当月	79	254	705,231	201,358	69,415	976,004
	累計	507	1,577	5,181,513	1,088,975	505,718	6,776,206

あとがき

あれは確か10月の中頃のテレビ放送であった。NHK午後10時「プロフェッショナル 白血病と闘う豪快医師 母の闘い、希望の移植 ▷生きたい…命を巡る究極の決断に密着」とのタイトルで、白血病に悩みながらも敢然と立ち向かう医師に密着取材したものであった。ある64歳の男性がその年齢では血液の移植手術の成功率は40%と告げられ、笑顔で「その40%にかけます。移植をお願いします。希望を持ってました。」と伝える。しかし、手術予定日の前日に体調が急変し意識不明に陥り翌日亡くなる。術後40日後に命を落とす16歳の高校生、50歳の主婦も中学2年生の娘に看取られながらこの世を去ります。

手術予定の前日から体調が急変した64歳の男性は、病室の窓から病院のとなりにある造幣局の職員が毎日ランニングしている姿を見て「私も早く元気になってあのように走りたい」とつぶやきます。

人間が月に行ったり、宇宙ステーションに何ヵ月も生活できるこの時代にまだ癌に勝てないことにやりきれない気持ちになる。そして、健康であることのありがたさを改めて感じさせられた番組であった。